

電気学会部門誌への投稿手引

昭和56年5月, 昭和58年4月, 昭和61年6月, 平成元年4月, 平成4年4月, 平成5年7月, 平成7年3月, 平成7年12月, 平成10年4月, 平成12年4月改正

平成12年4月に投稿の手引が改正されました。主な改正点は次の通りです。

- (1) 投稿者の資格要件を次のように改正した。
 - ・投稿者は原則として会員に限る。ただし、連名の場合は少なくとも1名が本会会員でなければならない。
 - ・外国からの投稿は非会員でも受け付ける。
- (2) 資料・Technical Note, 研究開発レター・Letter の要件を, 「投稿前に本学会が主催もしくは共催する各種大会あるいは研究会, およびこれに準じる集会で発表された内容を含むものは, 新規に資料・Technical Note あるいは研究開発レター・Letter として投稿することができる」と改正した。
- (3) 論文の書き方の一部を次のように改正した。
 - ・キーワードは, 日本語・英語の併記とする。
 - ・図面・写真中あるいは表中などの説明は, 原則として英語表記とする。
- (4) 掲載決定となった論文・Paper, 資料・Technical Note に添付する Extended Summary については, PDF 化された電子データに切り換えた (ただし, 従来方式の A4 判 1 ページに出力されたものでも受け付ける)。
- (5) 論文・Paper, 資料・Technical Note については, 投稿時の提出書類の部数を 3 部に変更した。研究開発レター・Letter については, 投稿時の提出書類の部数を 2 部に変更した。
- (6) 「部門誌の掲載内容の分類」の記載内容を全面的に見直した。

電気学会部門誌への投稿手引

目次

[1] 投稿規則	
1. 投稿者の資格	1
2. 部門誌の掲載内容	1
3. 投稿の種別と要件	1
3.1 論文・Paper	
3.2 資料・Technical Note	
3.3 研究開発レター・Letter	
3.4 誌上討論・Discussion	
4. 投稿日・受付・審査・判定・再提出期限	2
5. 原稿の提出先	2
6. グループ名投稿	2
7. 著作権	2
8. その他	2
[2] 原稿作成手引	
1. 留意事項	2
2. 原稿の作成と提出書類	3
2.1 原稿の作成	
2.2 原稿の提出	
3. 言語・ページ数の制限	3
4. 原稿の様式	4
4.1 スタイルファイルによる原稿の様式	
4.2 写真製版用原稿の様式	
4.3 手書き原稿の様式	
5. 原稿の書き方	4
5.1 論文・Paper および資料・Technical Note	
5.2 研究開発レター・Letter	
5.3 誌上討論・Discussion	
6. 掲載決定後の手続き	6
[3] 掲載料	
1. 掲載別刷代	6
2. 海外からの投稿への支援	6
付表 1 部門誌の掲載内容の分類	
付表 2 部門誌への投稿の種別と投稿時の提出書類	
付表 3 掲載決定後の提出書類等	
付表 4 掲載別刷代	
付録 1 著作権譲渡書・Copyright Transfer Form	
付録 2 電気学会論文等投稿票	
付録 3 電気学会部門誌論文要旨	
付録 4 論文, 資料の作成見本	
付録 5 Paper, Technical Note の作成見本	
付録 6 Extended Summary の作成見本	
付録 7 投稿論文等の図面作成手引	

電気学会部門誌への投稿手引

昭和56年5月, 昭和58年4月, 昭和61年6月, 平成元年4月, 平成4年4月, 平成5年7月, 平成7年3月, 平成7年12月, 平成10年4月改訂, 平成12年4月改訂

まえがき

本学会の部門誌は, 部門の会員の方々に毎月直接お届けする大切な情報媒体です。投稿していただく論文等は, この趣旨に従い, 本手引によって運用処理されますので, 投稿にあたってご一読下さい。なお, 部門誌に掲載される論文・Paper, 資料・Technical Note, 研究開発レター・Letter, 誌上討論・Discussion は, 原則として, 投稿者より提出されたスタイルファイルによる原稿または写真製版用の原稿を用いて印刷いたします。

[1] 投稿規則

1. 投稿者の資格

投稿者は原則として本学会員に限る。投稿者が連名の場合は, 少なくとも1名が本学会員でなければならない。ただし, 外国からの投稿は非会員でも受け付けます。

2. 部門誌の掲載内容

部門誌の分冊と掲載分野および内容を, 付表1に示します。

3. 投稿の種別と要件

投稿には, 「論文・Paper」「資料・Technical Note」「研究開発レター・Letter」および「誌上討論・Discussion」の種別があり, その他部門編集委員会で適当と認めた記事も受け付けます(以後, これらを論文等と総称する)。

3.1 論文・Paperの要件

本学会部門誌に掲載される論文・Paperは, 電気分野の学術または技術に寄与する内容であり, 次の(1)(2)(3)項のいずれかを満たし, かつ(4)(5)の両項を満たすものとします。

- (1) 客観的な創意が認められること(創造性)
- (2) 客観的な新しさが認められること(新規性)
- (3) 学術あるいは技術の発展に役立つこと(有用性)
- (4) 論旨に明白な誤りがないこと。
- (5) 本学会への投稿前に他の公開出版物に投稿されていないこと。ここで, 公開出版物とは国内外の書籍・雑誌, ならびに官公庁および大学等の機関誌を指します。ただし, 次に該当するものは新規論文として投稿できます。

(イ) 投稿前に本学会が主催もしくは共催する各種

大会あるいは研究会, およびこれに準じる集会で発表された内容を含む論文。

(ロ) 速報として既に掲載された研究開発レターを進展させた論文。

3.2 資料・Technical Noteの要件

本学会部門誌に掲載される資料・Technical Noteは, 本学会への投稿前に他の公開出版物に発表されていないものであって, 次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 従来の諸説の系統的整理。
- (2) 各種の試験結果, 試験事項, 計算数値表, 現場技術等で一般性のあるもの。
- (3) 学術上または技術上, 現在特に注目されている事項の総合報告。
- (4) その他, 学術上または技術上, 寄与すると認められるもの。

なお, 投稿前に本学会が主催もしくは共催する各種大会あるいは研究会, およびこれに準じる集会で発表された内容を含むものは, 新規資料・Technical Noteとして投稿することができる。

3.3 研究開発レター・Letterの要件

本学会部門誌に掲載される研究開発レター・Letterは, 本学会への投稿前に他の公開出版物に発表されていないものであって, 次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 創意ある研究または技術開発に関する速報。
- (2) 新規性ある学術または技術に関する速報。

なお, 投稿前に本学会が主催もしくは共催する各種大会あるいは研究会, およびこれに準じる集会で発表された内容を含むものは, 新規研究開発レター・Letterとして投稿することができる。

3.4 誌上討論・Discussionの要件

(1)

掲載された論文・Paper, 資料・Technical Note, 研究開発レター・Letterに対する討論および原著者の回答で、討論は形式的な「まえがき」などは切り詰めて単刀直入に論点を示し、原著者を助けて真実を明らかにすることを主旨とします。原著者の記事に関する事項に限定し、それ以外の事項には言及しないで下さい。

4. 投稿日・受付・審査・判定・再提出期限

- (1) 原則として当該月の25日までに受け付けた投稿論文等は、翌月の初めに開催される論文委員会に付議します。
- (2) 投稿論文等は本会誌編修課の処理簿に記入され、著者には受付番号、受付月日を記した受付通知を出します(再受付原稿も同様)。ただし、本投稿手引の記載事項から著しく逸脱した論文は、返送して修正を求めることがあります。
- (3) 投稿論文等は、1名ないし2名以上の論文査読委員により「論文査読の申し合わせ」によって審査されます。論文委員会主査は、その審査意見に基づいて判定し、編修会議議長に報告します。編修会議議長は、その判定結果に基づいて以下のように採否などを決め投稿者に通知します。
 - (イ) そのまま掲載
 - (ロ) 軽微な修正を求めたうえ掲載(条件付掲載)
 - (ハ) 著者に照会して回答を求めたうえ採否を決める(照会后判定)
 - (ニ) 掲載しない(掲載不可)
- (4) (ロ)(ハ)による照会后3か月を経過しても回答のないものは処理簿から抹消します。3か月経過後の投稿は新規投稿扱いになります。
- (5) 投稿受付日以降6か月を経過しても著者に対し、何ら通知がされていない場合には、他誌への投稿を妨げません。
- (6) 論文等の採否は、上記手続きにより行われるものであり、本会編修会議はこのことによって生じる不利益に対しての責任は一切負いません。

5. 原稿の提出先

〒102-0076

東京都千代田区五番町6-2

HOMAT HORIZONビル8階

(社)電気学会 会誌編修課 部門誌担当

電話: 03-3221-7302

FAX: 03-3221-3704

6. グループ名投稿

個人名による投稿が困難な場合、グループ名投稿が可能です。この場合は、事前承認とグループ構成員の同意、確認を必要とします。詳細は本会誌編修課にお問い合わせ下さい。

7. 著作権

電気学会部門誌に掲載される論文等の著作権は、電気学会に譲渡していただきます。そのため、付録1の様式による著作権譲渡書を投稿時に論文等の原稿と一緒に提出して下さい。著作権譲渡は以下の点を了解したうえで行って下さい。なお掲載不可となった論文等は、掲載不可決定時点で著作権譲渡も無効となります。

- (1) 著作権譲渡は翻訳権、翻案権、二次的著作物の利用権を含めて行っていただきます。
- (2) 同一内容の論文等を複数の公開出版物に投稿しないで下さい。
- (3) 他の著作物からの引用にあたっては、著作権上の問題が生じないように十分に注意を払って下さい。
- (4) 著作権の譲渡を行っても以下の権利は著者の手元に残るものとします。
 - (イ) 著作権以外の例えば特許権のような権利。
 - (ロ) 著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること。
 - (ハ) 著者が営利を目的とせずに行う複製(例えば教育資料としての使用)。
 - (ニ) その他、日本の著作権法に反しない利用。
- (5) 本会はJohn Wiley & Sons社(アメリカ)との翻訳出版による契約で、本会部門誌に掲載された論文などを“Electrical Engineering in Japan”誌に翻訳掲載することを許諾しています。その関係でJohn Wiley & Sons社から直接著者に照会が行く場合があります。

本会は上述のように、著作権を譲渡いただくことにより、実質的に著作者の権利を損なわずに論文等の周知性を向上させる努力を行っています。

8. その他

- (1) 図、表など欠落のある不備な原稿、制限ページ数を超えている原稿は受け付けません。「[2]原稿作成手引」により十分にご検討下さい。
- (2) スタイルファイルおよび写真製版用の原稿で提出された論文等の場合は、原則として著者校正を行います。

手書き原稿で提出された論文等の場合は、著者に校正刷りを送付して校正をお願いします。

[2] 原稿作成手引

1. 留意事項

部門誌は、電気分野の学術・技術に寄与する新しい研究・開発ならびに応用の結果を速やかに広く会員に伝えるための場です。したがって、投稿者は読者にとって価値があり、興味ある情報を効率よく伝えることを念頭において下さい。また速やかに誌上に掲載

するには、査読期間を短縮する必要があり、そのためにも次の点に留意して原稿を作成して下さい。

- (1) 同じ専門分野の読者はもちろん、専門外の人にも発表内容の意義と成果が理解できるようにする。特に、要旨とまえがきの執筆にあたって留意すること。
- (2) 本質に関係のないことは省き、簡明に表現する。誤字や脱字がないように推敲を重ねる。信頼し得る第三者に読んでもらうとよい。
- (3) 関連した分野の現状をまとめ、発表内容の位置づけを明らかにする。
- (4) 発表内容のうち、どの部分に創意性、新規性、有用性などがあるかを明確に表現する。例えば、理論・実験方法・実験結果などについて、従来の考え方・手法・結果と異なる点を明らかにする。
- (5) 論文・Paper の内容は論理的に配列し、説明に飛躍があってはならない。
- (6) 一部分でも論理に飛躍がある論文・Paper は信頼されない。特に論文・Paper の前提となる仮定や条件の妥当性について十分検討し、一般性のあることを明らかにする。
- (7) 査読を容易にするために、「論文・Paper の見どころ」「数式の誘導」「参考文献」などを原稿とともに提出してもよい。

2. 原稿の作成と提出書類

2.1 原稿の作成

論文・Paper, 資料・Technical Note, 研究開発レター・Letter, 誌上討論・Discussion は、原則として、投稿者より提出されたスタイルファイルまたは写真製版用（カメラレディ）の原稿を用いて印刷します。この印刷方法では、投稿者より提出された最終原稿が、そのまま印刷されますので、後述の「4. 原稿の様式」を参照のうえ、原稿を作成して下さい。

原稿用紙は、論文・Paper, 資料・Technical Note, 研究開発レター・Letter, 誌上討論・Discussion いずれも、原則として A4 判用紙とします。本会所定の原稿用紙を使用する場合は本会誌編修課にご請求下さい。

原稿の作成は、以下の三つの方法のいずれかによって行って下さい。

- (1) スタイルファイルによる原稿：4.1 スタイルファイルによる原稿の様式を参照下さい。
なお、LaTeX, PageMaker (Mac 版) のスタイルファイルの入手法は、4.1 を参照下さい。
- (2) 写真製版用（カメラレディ）原稿：4.2 写真製版用原稿の様式を参照下さい。
- (3) 手書き原稿：4.3 手書き原稿の様式を参照下さい。この場合、印刷用の版下は、電算写植による組版となります。

原稿の執筆に際しては、図表も含め、体裁・レイアウ

トに注意し、読みやすいようにして下さい。

2.2 原稿の提出

投稿時提出書類は付表 2 の通りです。なお、印刷に必要なオリジナルの図、表、写真、フロッピーディスクあるいは MO ディスク、写真製版用（カメラレディ）最終原稿などは、掲載決定後に提出していただきます。

(1) 論文・Paper および資料・Technical Note

(1.1) 次の 3 種類の原稿のコピーを 3 部作成し、電気学会論文等投稿票（以下、投稿票と略称。付録 2 をコピーのうえ利用）、および著作権譲渡書（Copyright Transfer Form, 付録 1 をコピーのうえ利用）各 1 部を添えて送付して下さい。

(イ) 本文 (Summary・図表・著者紹介を含む) : 部門誌に掲載

(ロ) 論文要旨 (図表不可)

(ハ) Extended Summary: 電気学会ホームページに掲載

(1.2) 本文, 論文要旨, Extended Summary は、「5. 原稿の書き方」に従い任意の A4 判用紙に記載して下さい。

(2) 研究開発レター・Letter

「5.2 研究開発レター・Letter」に従い任意の A4 判用紙に記載し、原稿のコピー 2 部を作成し、投稿票と著作権譲渡書 (Copyright Transfer Form) 各 1 部を添えて送付して下さい。

(3) 誌上討論・Discussion

任意の A4 判用紙に記載し、原稿のコピー 2 部を作成し、投稿票と著作権譲渡書 (Copyright Transfer Form) 各 1 部を添えて送付して下さい。誌上討論・Discussion のスタイルファイルは用意されていませんので原稿の書き方等、詳細は本会誌編修課にお問い合わせ下さい。

3. 言語・ページ数の制限

(1) 本文は日本語または英語に限ります。ただし、論文委員会が認めた場合は、この限りではありません。

(2) ページ数の制限 (付表 2 参照)

(2.1) 論文・Paper および資料・Technical Note

これらは 6 ページ以内を原則としますが、追加 8 ページ、即ち 14 ページまでは認められます。ただし、制限ページ内に収められないからといって 1 編とすべき内容を 2 編に分けて投稿したと判定された場合は、それらを 1 編の論文にまとめていただきます。

(2.2) 研究開発レター・Letter

研究開発レター・Letter とも、それぞれ 2 ページ以内とします。

(2.3) 誌上討論・Discussion

誌上討論・Discussion とも、それぞれ 1 ページ以内

とします。

4. 原稿の様式

4.1 スタイルファイルによる原稿の様式

次のスタイルファイルを用意しており、電気学会ホームページ

<http://www.iee.or.jp>

から入手できます。なお、ホームページへアクセスできない場合は、本学会誌編集課へお問い合わせ下さい。

(1) LaTeX 用スタイルファイルを用いて原稿を作成する場合

(a) フロッピーディスクまたは MO ディスクを次のいずれかの形式でフォーマットして使用する。フロッピーディスク、MO ディスクは、掲載決定後に提出する。

・DOS/V 形式：3.5 (1.44MB, 720KB)

・NEC-PC 形式：3.5 (1.2MB, 640KB)

・MO ディスク (DOS 形式または Mac 形式でフォーマットされたもの)：3.5 (128MB, 230MB)

(b) 図、写真は EPS 形式で作成原稿に取り込む。これ以外の方法で図・写真を作成した場合は、次のようにする。

・本文中に図・写真のスペースを確保する。

・図・写真は原稿に添付する。

(c) 図・写真データが利用できないことがあるので、データとともにプリントアウトされたハードコピーを原稿に添付すること。

(d) 配布されたスタイルファイルを修正しないこと。

(2) PageMaker 用スタイルファイルを用いて原稿を作成する場合

(a) Macintosh 標準形式でフォーマットされた次のものを使用する。

・3.5 フロッピーディスク

・3.5 MO ディスク (128MB, 230MB)

(b) Macintosh 上の PageMaker V.6.5J 以上で作成すること。フロッピーディスクまたは MO ディスクは掲載決定後に提出する。

(c) 式は、数式ソフト Expressionist または Math Type で作成し、EPS 形式保存する。

(d) 図、写真は、EPS 形式または TIFF 形式で作成原稿に取り込む。これ以外の方法で図面を作成した場合は、その図、写真を原稿に添付する。

(e) 表は、次のいずれかの方法で作成すること。

・EPS 形式で作成原稿に取り込む。

・罫線などのレイアウト情報を削除して、表の中味の情報だけをテキストファイルの形式で作成する。

この際、表の中味に関する情報は、もとの表と同じレイアウトで配置する。

(f) 図・写真データが利用できないことがあるので、

データとともにプリントアウトされたハードコピーを原稿に添付すること。

(g) 配布されたスタイルファイルを修正しないこと。

4.2 写真製版用 (カメラレディ) 原稿の様式

ワードプロセッサなどを利用して写真製版用の原稿を作成する場合は、文字の大きさ、文字数等を次のように設定して下さい。体裁等の詳細は、付録 4 (論文、資料の作成見本) および付録 5 (Paper, Technical Note の作成見本) を参照下さい。用紙は、任意の A4 判用紙あるいは本会所定の原稿用紙を利用して下さい。

(イ) 上下の余白 : 上 25mm, 下 24mm

(ロ) 左右の余白 : 各 16mm

(ハ) 文字の大きさ : 9 ポイント (13 級)

(詳細は付録 4, 付録 5 参照)

(ニ) 片段の行数 : 50 行 (Paper, Technical Note, Letter の場合は, 60 行)

(ホ) 片段の文字数 : 26 字 (Paper, Technical Note, Letter の場合は, 84mm)

(ヘ) 段の間隔 : 10mm (3 字分)

4.3 手書き原稿の様式

本会所定の原稿用紙を使用し、付録 4 または付録 5 に従って作成して下さい。この場合、図、写真、表などは、原則として所定の位置に配置して下さい。なお、4.1 および 4.2 に該当しない原稿は、すべて手書き原稿と同じ扱いとなります。この場合、付表 4-2 のように掲載別刷代が高くなりますのでご注意下さい。

5. 原稿の書き方 (付録 4, 付録 5 参照)

5.1 論文・Paper および資料・Technical Note

(1) 本文 1 ページ目のスタイル

(1.1) 論文・資料は付録 4 を参考に次の ~ の順序で表題等を記入し、Paper, Technical Note については付録 5 を参考に次の ~ の順序で作成して下さい。

表題 (40 文字以内)

・1 行の場合は、原稿用紙 4 行目中央に記入すること。

・2 行にわたる場合は、原稿用紙 4 行目 ~ 6 行目に適当な配置で記入すること。

会員種別・氏名・(所属)

・表題から 1 行あけて記入すること。

・1 行に 2 名までは横に並べて記入してもかまわない。その場合の順番は、第 1 行左、第 1 行右、第 2 行左、・・・となる。

英語による表題・氏名・会員種別・(所属)

・左右の空白を 3 字分以上あけること。

Summary (英語: 150 ~ 200 語以内)

・左右の空白を 2 字分あけること。

キーワード

・左の空白を2字分あけること。

また、右上欄外の枠内に論文・Paper, 資料・Technical Note 等の種類と掲載を希望する部門誌 (A, B, C, D, E) を記載して下さい(1 ページ目のみ)。部門誌の掲載分野の分類は、付表1の通りです。

(1.2) キーワード

論文内容を6つ以内のキーワードで表し、1語ずつカンマで区切って下さい。選定の要領は次の通りです。なお、キーワードは日本語と英語の併記とする。

- (イ) 具体的な意味のある語句を選ぶ。
- (ロ) 名詞を用いる。
- (ハ) 省略形は海外も含めて広く通用しているものに限る(著者が作った新語は不可)。
- (ニ) 複合語は慣用されているものに限る。

(1.3) 本文の記述

本文の記述は、内容の重要度に従い下記の順序に整理し、章の見出しのみ2行分をとって下さい。

章: 1.

節: 1.1

(1.4) 文字および文体

(イ) 論文・資料: 日本語に限る。

Paper・Technical Note: 英語に限る。

(ロ) 日本語は、ひらがな混じり口語体(現代かなづかい)とし、なるべく常用漢字、アラビア数字を用いること。

(ハ) 術語は原則として「文部省学術用語集」および本学会「電気専門用語集」、「電気工学ハンドブック」によること。

(ニ) 量記号、単位記号および図記号は、原則として「電気工学ハンドブック」によること(JIS: Z8202, Z8203, C0301, X0122)。それ以外に周知の略語を使用してもかまわないが、書き方は統一すること。

(ホ) 文献

・執筆者自身の関連論文のみならず、執筆者以外の参考文献を含め、適切かつ十分な参考文献をあげること。必要なら参考文献(執筆内容に詳しいもの、関連の強いもの)を投稿に際して3部添付すること。

・文献は、論文等の本文末尾に通し番号をつけて一括記載し、本文中の該当箇所に丸カッコで囲んだ引用番号を上つき文字で記入すること。

・一般に公表されていない委員会報告や社内報告などは文献としてあげないこと。

・投稿中の論文は引用しないこと。

・文献の記載方法は下記によること。

著者名: 「題目」, 書名, 巻, 号, ページ(西暦発行年月)

なお、著者名は著者全員をフルネームで、「題目」はなるべく省略しないこと。

(1.5) 図面・写真

(イ) 図面・写真は、付録7に定める「投稿論文等の図面作成の手引」に従って作成する。

(ロ) 図・写真などの表題は、和英両語で図面・写真の下に記載すること(「図」だけで説明のないものは不可)。英文論文の場合は英語のみとする。

(ハ) 図・写真中の説明は、原則として英語にすること。

(ニ) 図・写真の番号は、通し番号とすること。

(ホ) 図面等の挿入位置および大きさは、読者が見やすいように配置すること。

(ヘ) 図の左右に余白があっても、本文を記載しないこと。

(1.6) 表

(イ) 表の横幅および文字の大きさは、付録7に定める「投稿論文等の図面作成手引」の2.4項に準ずる。

(ロ) 表題は、表の上に和英両語で記載すること。

(ハ) 表の番号は、図の番号と同じく、通し番号とすること。

(ニ) 表中の説明は、原則として英語にすること。

(2) 著者紹介

著者紹介は、末尾の7行分をあて、左端に顔写真(縦横28×22mm)を貼り、その上に氏名を乗せて生年月日から続けて下さい。会員種別は氏名のあとに置き、合計133文字以内(付録4.5の2枚目参照)として下さい。

(3) 論文要旨

(3.1) 論文、資料1件につき任意のA4判用紙を用い、付録3の形式に準じ、1行目に表題を記入のうえ、480文字(24文字×20行)以内で記載して下さい。なお、手書きの場合は、付録3のコピーをご利用下さい。

(3.2) 内容は、要旨自体で原論文の概要を理解できるように記載し、図表は用いない。また、「原論文図に示すように」など、原論文の図表あるいは記事を引用しない。

(4) Extended Summary(英文)

Extended Summaryは付録6を参考にして作成して下さい。提出していただいたExtended Summaryは、そのままの状態で本会のホームページに掲載されます。

(4.1) 論文・Paper, 資料・Technical Note 1件につき任意のA4判用紙1枚を用いて作成して下さい。原論文の概要が理解できる内容として下さい。

(4.2) 表題・氏名・会員種別・(所属)は、5.1(1)に従って作成して下さい。また、E-mail アドレスを入れる場合には、所属欄を利用し、(所属, E-mail アドレス)として下さい。

5.2 研究開発レター・Letter

(1) 本文

5.1 論文・Paper および資料・Technical Note の場合の(1)に準じます。なお、英文 Summary は 100 語程度とします。

(2) 著者紹介

著者紹介の記載は自由ですが、記載する場合には 5.1(2)に準じ、規定の文字数・ページ数内に収めて下さい。また顔写真は無くてもかまいません。

5.3 誌上討論・Discussion

詳細は、本学会誌編集課にお問い合わせ下さい。

6. 掲載決定後の手続き

(1) 最終原稿の提出

掲載決定通知を受けた著者は、次のものを本学会誌編集課へ提出して下さい(付表 3 参照)。なお、部門誌掲載用として提出していただいた最終原稿(フロッピーディスクなどを含む)は原則として返却しません。

(1.1) スタイルファイルを用いた場合(4.1 参照)

最終原稿のハードコピー(印刷見本): A4 判用紙に印刷したものを提出して下さい。フロッピーディスクまたは MO ディスクに不備(スタイルファイルの変更、破損など)がある場合には、そのまま写真製版用原稿として用いますのでご注意下さい。

最終原稿のフロッピーディスクまたは MO ディスク: 3.5 フロッピーディスクまたは MO ディスクのラベルに次の事項を記し、提出して下さい。

・LaTeX 用スタイルファイルを使用した場合

論文受付番号

ファイル名

LaTeX システム名とバージョン

ディスクフォーマットの形式

・PageMaker 用スタイルファイルを使用した場合

論文受付番号

ファイル名

PageMaker のバージョン

Macintosh 機種名

ディスクフォーマットの形式

図、写真、表(オリジナル)

著者紹介写真

・最近撮影された写真で、サイズは縦横 28 × 22mm

・写真の裏に氏名を記入。

・研究開発レターの著者紹介は 5.2(2)を参照。

Extended Summary (研究開発レター・Letter は除く)

提出はなるべく PDF 化された電子データとして下さい。これが不可能な場合は、A4 判 1 ページに出力されたものでも結構です。

(1.2) 写真製版用原稿の場合

オリジナル原稿(そのまま印刷に使用)。

著者紹介写真

・最近撮影された写真で、サイズは縦横 28 × 22mm

・最終原稿に貼付。

・研究開発レターの著者紹介は 5.2(2)を参照。

Extended Summary (研究開発レター・Letter は除く)

提出はなるべく PDF 化された電子データとして下さい。これが不可能な場合は、A4 判 1 ページに出力されたものでも結構です。

(1.3) 手書き原稿の場合

図、写真(オリジナル)

著者紹介写真

・最近撮影された写真で、サイズは縦横 28 × 22mm

・写真の裏に氏名を記入。

・研究開発レターの著者紹介は 5.2(2)を参照。

Extended Summary (研究開発レター・Letter は除く)

提出はなるべく PDF 化された電子データとして下さい。これが不可能な場合は、A4 判 1 ページに出力されたものでも結構です。

(2) 著者校正

(2.1) スタイルファイルおよび写真製版用の原稿

・原則として行いません。

(2.2) 手書き原稿

・校正刷りを送付し、校正を一度行います。

[3] 掲載料

1. 掲載別刷代

投稿論文等が掲載された場合には、掲載別刷代として別刷を 50 部以上購入していただきます。掲載別刷代は、スタイルファイル・写真製版用原稿と手書き原稿では異なり、その詳細は、付表 4「掲載別刷代」に示す通りです。

2. 海外からの投稿への支援

海外からの投稿者で、掲載別刷代の支払いが困難と思われる著者に対しては、投稿時に申請書を提出すれば、掲載別刷代の一部が免除される場合があります。申請書の形式は自由です。

付録 1 部門誌の掲載内容の分類

部 門 誌	分 冊	分 野	
基礎・材料・共通	A 分冊	共通	材料
		a101 教育・研究 a102 応用数学 a103 電気理論 a104 電磁環境 a105 計測技術 a106 光応用・視覚 a107 電気技術史 基礎 a201 放電 a202 プラズマ a203 パルスパワー	a301 絶縁体・誘電体材料 a302 半導体材料 a303 導電体材料 a304 機能性材料 a305 材料試験法 マグネティックス a401 磁性材料 a402 磁気応用 a403 マイクロ磁気 a404 生体磁気
電力・エネルギー	B 分冊	電力システム	エネルギー変換・輸送
		b101 電力系統計画・運用 b102 電力系統制御 b103 系統解析・シミュレーション b104 系統保護 b105 系統監視・制御システム b106 エネルギーシステム	b201 送配電線・電力ケーブル b202 送配電機器, がいし b203 開閉保護装置, 避雷器, アーク現象 b204 変電機器 b205 超電導機器 b206 高電圧・雷・サージ b207 エネルギー変換・貯蔵装置 b208 その他電力用機器
電子・情報・システム	C 分冊	エレクトロニクス	情報工学システム
		c101 電子材料 c102 電子デバイス c103 電子・集積回路 c104 光・量子エレクトロニクス c105 医用電子・生体工学 c106 電子応用 c107 センシング c108 通信・ネットワーク	c201 マルチメディア c202 音声画像処理・認識 c203 制御・計測 c204 ロボティクス c205 ソフトコンピューティング c206 システム c207 ソフトウェア・情報処理 c208 エレクトロニク・コマース
産業応用	D 分冊	パワーエレクトロニクス	電気機器
		d101 電力用半導体デバイスとその応用 d102 電力変換・制御回路方式 d103 各種電源装置 d104 回転機制御技術 d105 無効電力と高調波の抑制制御 産業システム d201 産業用電力応用システム d202 モーションコントロール・メカトロニクス d203 電気自動車 d204 制御理論・計測技術の産業応用	d205 情報技術の産業応用・FA d206 金属産業・一般産業 d207 生産設備管理・道路交通・公共施設 d301 回転機 d302 リニアドライブ d303 磁気浮上・磁気軸受 d304 静止器 d305 超電導応用 d306 電気鉄道
センサ・マイクロマシン	E 分冊	センサ・マイクロマシン	マイクロマシン
		e101 機械量センサ e102 光・放射線センサ e103 その他の物理センサ e104 ガス・湿度センサ e105 イオン・バイオセンサ e106 その他の化学センサ e107 センサ・アクチュエータ用材料 e108 プロセス技術・マイクロマシニング	e109 マイクロマシン e110 アクチュエータ e111 センサシステム e112 センサ応用 e113 設計・モデリング e114 センシングアルゴリズム e115 光応用センシング e116 極限センシング e117 センサ新手法

付表2 部門誌への投稿の種別と投稿時の提出書類

		論文・Paper	資料・Technical Note	研究開発レター・Letter	誌上討論・Discussion
標準ページ数 (制限ページ数)		6ページ以内 (14)	6ページ以内 (14)	2ページ以内 (2)	1ページ以内 (1)
提出部 数	投稿票	1	1	1	1
	本文のコピー	3	3	2	2
	和文論文要旨のコピー	3	3	不要	不要
	Extended Summary のコピー	3	3	不要	不要
	著作権譲渡書 (Copyright Transfer Form)	1	1	1	1

付表3 掲載決定後の提出書類等

原稿の様式	最終原稿	図・表・写真	Extended Summary*	フロッピーディスク(論文等)	著者紹介写真**	著者校正
スタイルファイル	印刷見本	オリジナル	フロッピーディスクまたはオリジナル	提出 6.(1)参照	提出 6.(1)参照	原則行わない
写真製版用原稿	オリジナル	最終原稿に貼付	フロッピーディスクまたはオリジナル	不要	最終原稿に貼付	原則行わない
手書き原稿	不要	オリジナル	フロッピーディスクまたはオリジナル	不要	提出 6.(1)参照	一度行う

* :論文・Paper, 資料・Technical Note の場合のみ提出

** :研究開発レター・Letter の場合, 5.2(2)参照

注 :上記表中のフロッピーディスクとは, MO ディスクを含むものとする。

付表 4-1 掲載別刷代（写真製版用原稿，LaTeX，PageMakerの場合）

（単位：円）

部数 ページ数	50部	100部	200部	300部	400部	500部
1	25,300	27,300	32,600	38,700	45,000	51,600
2	37,300	39,300	44,600	50,700	57,000	63,600
3	49,300	51,300	56,600	62,700	69,000	75,600
4	61,300	63,300	68,600	74,700	81,000	87,600
5	79,400	81,400	86,700	92,800	99,100	105,700
6	91,400	93,400	98,700	104,800	111,100	117,700
7	124,400	126,400	131,700	137,800	144,100	150,700
8	154,400	156,400	161,700	167,800	174,100	180,700
9	189,500	191,500	196,800	202,900	209,200	215,800
10	219,500	221,500	226,800	232,900	239,200	245,800
11	264,500	266,500	271,800	277,900	284,200	290,800
12	304,500	306,500	311,800	317,900	324,200	330,800
13	349,500	351,500	356,800	362,900	369,200	375,800
14	389,500	391,500	396,800	402,900	409,200	415,800

*消費税は含まれていません。

* LaTeX，PageMaker は本会指定のスタイルファイルを使用した時に限ります。

* 500部を超える別刷をご希望の場合は別途ご相談下さい。

付表 4-2 掲載別刷代（手書き原稿の場合）

（単位：円）

部数 ページ数	50部	100部	200部	300部	400部	500部
1	31,300	33,300	38,600	44,700	51,000	57,600
2	49,300	51,300	56,600	62,700	69,000	75,600
3	67,300	69,300	74,600	80,700	87,000	93,600
4	85,300	87,300	92,600	98,700	105,000	111,600
5	109,400	111,400	116,700	122,800	129,100	135,700
6	127,400	129,400	134,700	140,800	147,100	153,700
7	170,400	172,400	177,700	183,800	190,100	196,700
8	210,400	212,400	217,700	223,800	230,100	236,700
9	255,500	257,500	262,800	268,900	275,200	281,800
10	295,500	297,500	302,800	308,900	315,200	321,800
11	350,500	352,500	357,800	363,900	370,200	376,800
12	400,500	402,500	407,800	413,900	420,200	426,800
13	455,500	457,500	462,800	468,900	475,200	481,800
14	505,500	507,500	512,800	518,900	525,200	531,800

*消費税は含まれていません。

* 500部を超える別刷をご希望の場合は別途ご相談下さい。

著作権譲渡書
社団法人 電気学会
 著作権譲渡書

(本譲渡書を論文等投稿時に提出して下さい)

投稿題目： _____

著者氏名：(全員) _____

所属機関：(全部) _____

掲載予定論文誌： _____

著者全員は「電気学会部門誌への投稿の手引」の著作権・出版権に関する記述を理解し、以下の諸項に同意する。

(1)著作権の電気学会への譲渡。電子メディア化する権利，翻訳権，翻案権，二次的著作物の利用権を含む。

(2)投稿論文等は過去に公開されたことが無く，本質的な類似性を持つものも公開されたことが無く，かつ電気学会以外の出版物への公開を予定していない。

注：電気学会大会論文，研究会などの本学会主催の公開技術会合で発表されたものは本項の制約とはならない。

(3)他の著作物の著作権を侵害していないこと。著作権許諾が必要な引用については無償での転載許諾を書面で得ていること。

(4)内容に本質的な貢献を行った人は全て著者に含まれていること。

(5)必要な場合には著者の所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

なお，本書によって著作権の譲渡を行っても，以下の権利は著者の手元に残るものとする。

- * 著作権以外の例えば特許権のような権利
- * 著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること
- * 著者が営利を目的とせずに行う複写（例えば教育資料としての使用）
- * その他，日本の著作権法に反しない利用

著者名： _____ 署名： _____

(著者が複数の場合には代表者)

日付： _____

(以下は著者の所属機関で，著作権譲渡に責任者の承認が必要な場合に使用して下さい)

責任者名： _____ 署名： _____

(署名した著者の所属機関の責任者名)

役職： _____ 日付： _____

THE INSTITUTE OF ELECTRICAL ENGINEERS OF JAPAN
COPYRIGHT TRANSFER FORM

This completed and signed form must be included with papers, technical notes, letter or discussions when they are submitted to the Institute for the first time.

PROPOSED TITLE: _____

AUTHOR(S): _____

ORGANIZATION(S): _____

PLANNED PUBLICATION JOURNAL(S): _____

All the author(s) have read and understand the Copyright and Publishing rights as described in the Publication Guide for the Technical Journal of the IEEJ, and agree to the following items.

- (1) Copyright rights to this work are hereby transferred to IEEJ. The transferred rights include transformation rights to electronic media, translation rights, adaptation rights, and utilization rights of secondary works.
- (2) This work or a substantially similar work has not been published elsewhere and is not currently being considered for another publication in any language.
Note: Such materials as published in the IEEJ Conference Paper, IEEJ Technical Meeting Paper and other IEEJ sponsored meeting papers are not the subject of this item.
- (3) This work shall not infringe upon the rights of any third party. In the case of author(s) using copyrighted material in his/her work, written permission from the copyright holders shall be obtained for such use free of charge to IEEJ by the author(s) prior to the submission.
- (4) All the persons who have made substantial contributions to the work shall appear as authors.
- (5) An agreement for publication shall be obtained in cases where it is necessary from a person having appropriate authority in any organization to which author(s) belongs.

The author(s) reserves the following rights:

- * All proprietary rights other than copyright, such as patent rights
- * Re-use of all or part of the paper for their curriculum vitae
- * To make copies for his/her own purposes other than for commercial purposes
- * To use without violating the Japanese Copyright Law

Name of author: _____ Signature: _____

Date: _____

For jointly authored papers, one author representing all the authors should sign the above signature line. In the case where an authorized representative signature is necessary for the copyright transfer from the author's organization, the following shall be completed.

Name: _____ Signature: _____

(Authorized representative of the organization)

Title: _____ Date: _____

電気学会論文等投稿票

必要事項を記入(該当項目には を付ける)のうえ、原稿に添付して下さい。
(投稿時の必要書類については付表 2 をご参照下さい)

1. 投稿原稿の表題

日 本 語	
英 語	

2. 上記表題を簡略化した題

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

この簡略化した題は、版面外の余白部に示す論文見出しに使用します。日本語論文の場合は 17 文字以内。
英語論文の場合は 8words 以内。

3. 代表投稿者の氏名、勤務先、連絡先

氏 名	印	会員種別	会員番号
勤務先	電 話		
連絡先	〒		
E-mail			

4. 共著者

共著者がある場合は、全員を下欄に記入して下さい。なお、論文等の投稿に関するすべての責任は、代表投稿者に帰属させていただきます。

会員種別	会 員 番 号	氏 名

5. 投稿原稿の種別

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 論文・Paper | 2. 資料・Technical Note |
| 3. 研究開発レター・Letter | 4. 誌上討論・Discussion |

6. 投稿原稿の専門分野

- | | |
|----------------------|-------------------|
| A. 基礎・材料・共通(A 分冊) | B. 電力・エネルギー(B 分冊) |
| C. 電子・情報・システム(C 分冊) | D. 産業応用(D 分冊) |
| E. センサ・マイクロマシン(E 分冊) | |

分 野	, その他 ()
-----	-----------

〔付表 1 より選択して関連性の高い順に番号(a305, a303.....)を記入, 該当するものが無い場合にはその他に記入して下さい〕

投稿論文等の図面作成手引

(昭和 56 年 5 月一部改訂, 61 年 6 月改訂, 63 年 12 月改訂, 平成元年 4 月改訂, 平成 5 年 7 月改訂, 平成 10 年 4 月改訂)

電気学会部門誌に掲載される論文等の図面および表は, 写真製版用原稿を提出した場合はもちろんですが, それ以外の場合であっても, 著者が作成したものをそのまま写真製版して印刷いたします。したがって, 下記の各項を熟読の上, 精密かつ鮮明に仕上げるよう十分配慮して下さい。

記

1. 使用する用紙

用紙は白紙または青色方眼紙を使用すること。他の色の方眼紙は製版上, 不都合が生じる。

2. 図形シンボル・原図の大きさ

- (1) 図形シンボルは主として「JISC0301 一般電気用図記号」によること。
- (2) 図面・表の大きさは, 横幅 75mm 以内 (片段) を基準とする。特に重要な結果を示す図は, 大きめに作成する。図の横幅は最大 165mm 以内 (両段) に描くこと。表についても同様。

3. 原図の大きさ

図中の直線・曲線・ . . . ×印などは鮮明に描き, 太線と細線の使い分けを明確にすること。太すぎたり細すぎたり, また線や記号がにじんだりかすれたりしないように注意する。

4. 図中の文字

- (1) 図中の文字は原則として英語にすること。
- (2) 図中の文字が, 本文中に使用している学術用語・数字・記号・単位と相違しないように注意すること。
- (3) ローマン体 (立体文字) とイタリック体 (斜体文字) を明確に区別すること (原則として単位記号はローマン体, 量記号はイタリック体で書く。例: rad, um/s)
- (4) 上付き, 下付き数字または記号は明確に書くこと。
- (5) 図表中の文字の大きさは 7 ポイント (10 級) を標準とすること (読者が見やすいように配慮する)。

5. 図の番号と図説

- (1) 図の番号は図 1, 図 2, 図 3, ... のように通し一連番号とすること (図 1.1, 図 1.2, 図 1.3... のようにしない)。英文論文の場合も同様。
- (2) 図説は和英両語で図の下に記載すること。英文論文の場合は英語とすること。なお, 「図」だけで説明のないものは不可。

6. 写真原稿 (オシログラフも含む)

- (1) 写真は原則として白黒写真の鮮明に焼き付けられた陽画とし, 大きさは前項 2 によること。
- (2) 写真やオシログラフは印刷物で代用しないこと。
- (3) 写真中の文字は印刷の効果を考え, 背景が黒い場合は白字で書くことなど考慮すること。なお, その他は前項 4 によること。
- (4) 番号, 図説については前項 5 によること。
- (5) 要望によりカラー写真の印刷も受け付ける。この場合, 印刷や製本に費用がかかるので実費を徴収する。

(注) 印刷時に剥離する恐れがあるため, 写真に文字を貼らないこと。文字を入れる場合は, 写真を複写したものに文字を書き込み, オリジナル写真と共に提出すること。